

第2期標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

町では、役場の事務事業で排出する温室効果ガス（主に二酸化炭素）の抑制を目的に「第2期標茶町地球温暖化防止実行計画（平成28年度～平成32年度）」を策定しています。計画の対象は町有施設や公用車などで、毎年度結果を公表していきます。

◎平成29年度の状況（進行管理）を公表します。

区 分	基準年度 (平成25年度) 排出量	平成29年度実績		
		排出量	増減量	増減率
ガソリン	129,902 kg	169,548 kg	39,646 kg	30.5 %
軽油	606,249 kg	440,361 kg	△ 165,888 kg	△ 27.4 %
灯油	673,667 kg	777,787 kg	104,120 kg	15.5 %
A重油	2,122,589 kg	1,979,981 kg	△ 142,608 kg	△ 6.7 %
LPガス	45,051 kg	46,272 kg	1,221 kg	2.7 %
電気	2,798,715 kg	2,621,169 kg	△ 177,546 kg	△ 6.3 %
廃プラスチック	1,101,167 kg	1,364,031 kg	262,864 kg	23.9 %
廃プラスチック	13,877 kg	20,778 kg	6,901 kg	49.7 %
合 計	7,491,217 kg	7,419,927 kg	△ 71,290 kg	△ 0.95 %

※廃プラスチックは焼却量です。

【第2期 実行計画の排出量削減目標】

7,491,217 kg	⇒	<u>△3.8%</u>	⇒	7,206,551 kg
基準年度（平成25年度）		削減目標		目標年度（平成32年度）

結果分析

- ・基準年の平成25年度に比べて、二酸化炭素の排出量は71,290kg、約1%の減少となりました。
- ・ガソリン・灯油の排出量が基準年度より増加しておりますが、ガソリンについては、スクールバスの総運行距離数が増えたことなどによるもので、灯油については、冬の寒さの影響のため、各施設での使用量が増加しています。
- ・また、ごみとして出る廃プラスチック類が増加しており、二酸化炭素排出量が増えています。これは組成率（※）が増加していることによるものです。

引き続き、各家庭での資源ごみの分別にご協力をお願いします。

※組成率…燃やせるごみの中に混ざっている廃プラスチック類の割合。年4回の抽出検査によって確認される。

- ・軽油については、町有車両の計画的な入れ替え、配置により、二酸化炭素排出量を大きく減少させています。今後も車種の変更や業務の見直し等による削減に努めます。
- ・A重油については、平成30年度から本稼働しているクリーンセンターの新焼却施設で使用しなくなることから、今後、二酸化炭素排出量の減少が見込まれます。
- ・排出量削減に向けて、役場全体で積極的に取り組んでいきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

○問い合わせ先

役場企画財政課企画調整係

(2階⑩窓口 485-2111 内222)

平成29年度二酸化炭素排出量構成比

